

# 第 60 回 近畿数学教育学会例会プログラム

日時：平成 28 年 9 月 24 日（土） 会場：葺合文化センター

受付 9:00 - 9:30

発表（午前） 9:30 -

## A 会場

9:30 - 10:00

A1. 単位量の意識化を意図した小学校第 3 学年「分数」の指導に関する一考察

— 認識論的三角形を視点として —

大阪教育大学大学院 山本 美緒

10:10 - 10:40

A2. 能動的な学習を促す算数科授業に関する研究

— 「問い」をもち解決するための足場の検討 —

兵庫教育大学大学院生 林 達哉

10:50 - 11:20

A3. 現実的数学教育の原理に基づく微分方程式の導入教材のデザイン：予備的教授実験の結果による教材の改善

大阪教育大学大学院生 松川 仁

ポスター発表 11:30 - 12:00

- i. 河村 泰宏（京丹波町立下山小学校）  
算数科におけるアクティブ・ラーニングの実践
- ii. 平井 崇晴（甲南大学）  
平行四辺形になるための条件は万国共通か

昼休憩 12:00 - 13:00

総会 13:00 - 13:20

特別企画 13:20 - 14:50

「アクティブ・ラーニングの実現に向けて — 現場からの提案 —」

コーディネータ：岡部恭幸（神戸大学）

シンポジスト：

北村 純一（姫路市教委）、和家 祥一（大阪市立十三中学校）、稲葉 芳成（立命館宇治高等学校）

発表（午後） 15:00 -

## A 会場

15:00 - 15:30

A5. 就学前の子ども向けの「数量・形」についての体験とその学びについて — ある 5 歳児の観察からの報告 —

神戸女子大学 穴田 恭輔

15:40 - 16:10

A6. 「仮説の構成と検討」の事例 — 発見の文脈の観点から —

広島大学大学院生 中西 隆

16:20 - 16:50

A7. Disembedding に着目した幼小接続期教育の開発に向けて：遊びから教科の学びへ

神戸大学大学院 岡部 恭幸

発表 20分, 質疑 10分

## B 会場

9:30 - 10:00

B1. 文字式・方程式を利用する数学的モデル化の授業～「電力自由化」を題材として～

兵庫教育大学大学院生 元井 祐子

10:10 - 10:40

B2. フェルミ推定を活用した数学的モデリングの基礎研究 — フレームワークと評価基準に焦点をあてて —

岐阜大学大学院生 岡本 英通

10:50 - 11:20

B3. 平行四辺形の条件に関する教材研究

— 証明・反例を用いた真偽判断の視点から —

兵庫教育大学 濱中 裕明

11:30 - 12:00

B4. 話し合い活動における生徒のポジショニングに関する一考察

兵庫教育大学大学院生 金澤 文彦

## B 会場

15:00 - 15:30

B5. 算数科における「かく力」の育成に関する研究

兵庫教育大学大学院生 水野 貴彦

15:40 - 16:10

B6. 数学の記述式問題の答案からみられる課題

大阪大学大学院生 杉浦 悟

16:20 - 16:50

B7. 数学学習における「例づくり」に関する研究

— 学習者がつくる数学的概念や法則の例の質 —

兵庫教育大学 川内 充延

閉会行事 16:50 - 17:00